

東急田園都市線・大井町線二子玉川駅で

パナソニックの新技术「光ID」を使った情報発信媒体を設置

世界初、「光ID」とデジタルサイネージ広告を連動させた試験を実施します

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄株式会社（以下、当社）では、パナソニック株式会社の新技术「光ID」を活用した情報発信媒体を、2016年1月に東急田園都市線・大井町線二子玉川駅に試行設置し、同駅構内のデジタルサイネージの広告内容と連動させた試験を実施します。

「光ID」とは、専用アプリを起動したスマートフォンをかざすだけで、個人の属性や消費特性に合わせた情報をすばやく受信できる、世界で初めての技術です。

具体的には、デジタルサイネージのような電子媒体等に「光ID」を埋め込むことで、お客さまのスマートフォンで、広告内容と連動した商品情報や特典を取得することができます。

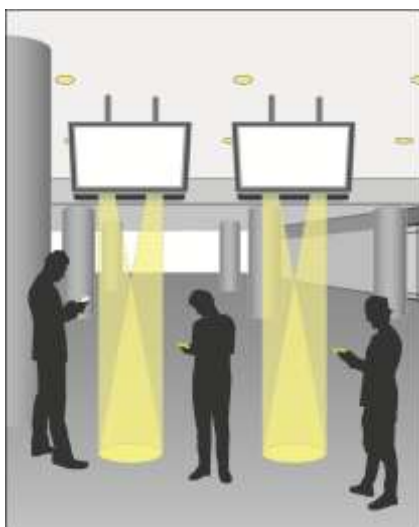
今回の設置にあたっては、東急線の中でも、デジタルサイネージが集積している二子玉川駅を設置駅として選びました。

当社では、今回の設置をふまえて、お客さまの利便性や快適性向上を目的として、「光ID」を使った情報発信媒体の本格導入を検討するとともに、デジタル広告の展開にもさらに注力していきます。

試行設置の内容は、以下の通りです。

【試行設置内容】

- 設置期間（予定）：2016年1月18日（月）～2月28日（日）
- 場 所：東急田園都市線・大井町線二子玉川駅
- 内 容：「光ID」技術を利用したデジタルサイネージ等との連動広告
- 媒体イメージ
シーリングサイネージ（間接光）



※二子玉川駅改札外

内照式看板



※二子玉川駅改札外

以 上

別紙①

■ 試行設置の概要

○ 媒体詳細

駅構内のデジタルサイネージや電飾看板に、「光ID」発信器を設置。

駅を利用するお客さまが、当該広告媒体に専用アプリを起動したスマートフォンをかざすことで、クライアントのWEBサイトを表示。駅構内の広告だけでは入手できない、クライアントの商品の詳細情報やクーポン等の特典を入手することができます。

○ 広告展開期間およびクライアント（予定）

（第1弾）1月18日（月）～24日（日）：映画配給会社

（第2弾）2月 8日（月）～14日（日）：インターネット検索サービス業

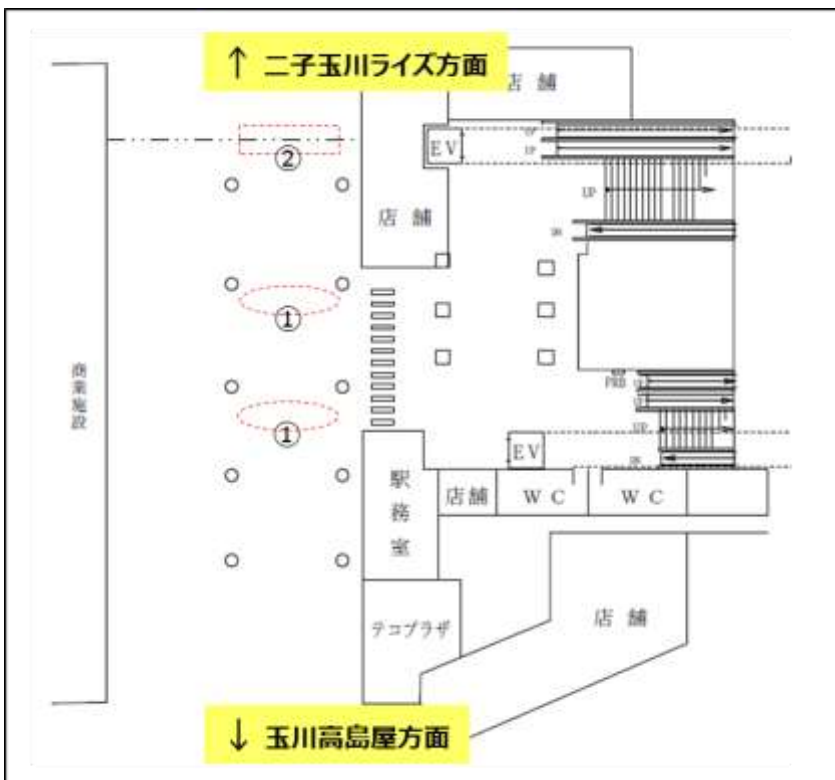
（第3弾）2月22日（月）～28日（日）：食品メーカー

○ 場所

① シーリングサイネージ（間接光）

② 内照式看板

<アプリ起動時イメージ>



別紙②

■光IDの概要説明

【光ID技術を用いた情報連携サービスの特長】

「光ID」技術は、QRコードやARマーカ―などの画像読み取り方式とは異なり、受信時に読み取り位置を合わせたり複雑な画像を認識処理したりする手間が不要です。このため、人混みのなかで対象のコードに近づかなくても離れたところから、起動したスマートフォンのカメラをLED光源またはその光源で照らされた対象物にかざすだけで「光ID」をすばやく受信することができます。

「光ID」の受信には、スマートフォンのイメージセンサーを利用します。イメージセンサーで取得した画像をブロック単位に分けて情報を読み取っているため、スマートフォンの動画撮影スピード(フレームレート)を超える速さで、すばやく情報を読み取ることが可能です。

また、Bluetooth®や超音波などを用いた情報送信方式のように電波干渉・音波干渉を考慮する必要がないため、隣接する場所において複数の「光ID」発信器を設置し、多様な情報を提供することが可能です。

「光ID」の送信には、単色(白色)LEDの輝度(明暗の差)を利用します。このため、「光ID」の発信機器は、従来の可視光通信技術が適用されていた白色照明だけでなく看板照明・ショウウィンドウ等の間接光などに加え、デジタルサイネージに用いられる液晶ディスプレイの利用も可能で、幅広いシーンでの活用が見込まれます。

●QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。●Bluetoothは米国Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。